

Cisco C880 M4 サーバ ファームウェア更新ガイド

初版 : 2016 年 08 月 24 日

はじめに

このドキュメントでは、Cisco C880 M4 サーバのファームウェアを更新する方法として、次の2つの手順について説明します。

- [オフラインファームウェア更新手順](#) : サーバの電源がオフのときに開始します。
- [オンラインファームウェア更新手順](#) : サーバの電源がオンのとき（起動中）に開始します。

2つの手順は、手順を開始する際のシステム状態が異なること以外は同じです。

どちらの更新手順も、Management Board（MMB）Web UI から Unified Firmware Update を実行します。Unified Firmware Update は、次のファームウェアを更新します。

- BIOS ファームウェア
- BMC ファームウェア
- MMB ファームウェア

BIOS ファームウェアと BMC ファームウェアのデータは、各システムボード（SB0、SB1、SB2、SB3）の ROM デバイスに保存されます。MMB ファームウェアのデータは、MMB の ROM デバイスに保存されます。

各システムボードの BIOS ファームウェアのバージョンは同じである必要があります。また、各システムボードの BMC ファームウェアのバージョンも同じである必要があります。システムボードをスペアのシステムボードに交換すると、新しいシステムボードのバージョンと他のシステムボードのファームウェアのバージョンが異なる可能性があります。このような場合は、Unified Firmware Update を実行して、すべてのファームウェアバージョンを同じにします。

手順の概要

この全ワークフローの一部として、「[オフラインファームウェア更新手順](#)」を実行することをお勧めします。

-
- ステップ1 OSをシャットダウンし、システムの電源をオフにします（ただし、AC電源ケーブルは外さないでください）。
 - ステップ2 Cisco UCS Director から C880 M4 サーバの ManageMent Board（MMB）への IPMI コマンド発行を停止します。
 - ステップ3 MMB Web UI から Unified Firmware Update を実行してファームウェアバイナリを適用し、ファームウェアバイナリの実行が開始されるようにします。
 - ステップ4 「[ユーザ名とパスワードの変更](#)」の説明に従って、BMC の新しいユーザ名とパスワードを設定します。
 - ステップ5 Cisco UCS Director から C880 M4 サーバへの IPMI コマンド発行を再開します。
-

オフラインファームウェア更新手順

-
- ステップ1 管理者権限を使用して、MMB Web UI にログインします。
 - ステップ2 [Navigation] バーから [System] を選択します。
 - ステップ3 システムの電源をオフにします（ただし、AC電源ケーブルは外さないでください）。
 - ステップ4 [Navigation] バーから [Maintenance] を選択します。
 - ステップ5 [Firmware Update] > [Unified Firmware Update] を選択します。
 - ステップ6 ファームウェアファイルを選択します。
 - ステップ7 [Update] をクリックします。
ファームウェアバージョンの確認ウィンドウが表示されるまで待ちます。これには、約5分かかります。
 - ステップ8 ファームウェアのバージョンを確認し、[OK] をクリックします。
経過表示バーが約1分後に表示されます。
 - ファームウェアの更新には、MMB 設定あたり約70分かかります。
 - MMB 設定ごとに、Web UI にログインする前に約5分待ちます。Web UI はファームウェア更新時に切断されます。
-

オンラインファームウェア更新手順

はじめる前に

更新を開始する前に、システムが起動中の状態で、かつ、OS が動作していないことを確認します。

ステップ 1 管理者権限を使用して、MMB Web UI にログインします。

ステップ 2 [Navigation] バーから [Maintenance] を選択します。

ステップ 3 [Firmware Update] > [Unified Firmware Update] を選択します。

ステップ 4 ファームウェア ファイルを選択します。

ステップ 5 [Update] をクリックします。

ファームウェアバージョンの確認ウィンドウが表示されるまで待ちます。これには、約5分かかります。

ステップ 6 ファームウェアのバージョンを確認し、[OK] をクリックします。

経過表示バーが約1分後に表示されます。ファームウェアの更新には、MMB 設定あたり約70分かかります。

(注) このオンラインファームウェア更新手順では、ファームウェアの新しいバージョンが ROM デバイスに書き込まれます。新しいファームウェアをサーバに適用するには、サーバの電源をいったんオフにし、再度オンにします。

新しいファームウェアがシステムに適用される際には、Web UI は切断されます。Web UI にログインする前に約5分待機します。

ユーザ名とパスワードの変更

セキュリティ上の理由から、BMC のログインクレデンシャルの設定が、C880 M4 リリースバージョン 1.0.2 のリビジョンで変更されました。



(注) 新しい BMC ログインクレデンシャルの設定は、E7-8800 v3 CPU が搭載された C880 M4 の最初のファームウェア リビジョンで実装されています。

- ユーザ名とパスワードは無効になっています。
- ユーザ名とパスワードは MMB CLI コマンドで設定できます。

以前のリビジョンでは、デフォルトのユーザ名とパスワードの組み合わせは admin/admin で、これは変更できませんでした。新しいファームウェアを適用すると、BMC のユーザ名とパスワード

は無効になります。IPMI処理を行うためにBMCにログインする必要がある場合、次に示すMMB CLI コマンドを使用して、ユーザ名とパスワードを設定する必要があります。

```
set bmc user <user id> <password> <password> quiet
  user id: a username to be registered
  password: a password for the username
  password: the confirmation password
```

例：

```
set bmc user admin admin admin quiet
```

新しいユーザ名を設定せずに IPMI コマンドを BMC に入力すると、ユーザ名が無効なため LAN 接続を確立できないことを示すエラーメッセージが表示されます。

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.